

清流館高グッズ作ろう

生徒と卒業生がデザイン

清流館高(焼津市上新田)は生徒と卒業生が連携して、同校初のオリジナルグッズを制作する。生徒が考案したデザインが画面に入ったクリアファイル2千枚を作り、11月の学校公開日に中学生に配布する計画。12日には制作会議の初会合が開かれ、希望して参加した生徒7人が県内の大学でデザインを学ぶ卒業生の助言を受けながら、デザイン原案について話し合った。



クリアファイル 中学生に配布へ

制作会議には同校卒業生で静岡文化芸術大デザイン学部の鈴木響さんと1、2年生の生徒7人が参加した。

最初に生徒は自ら考えたデザイン案を披露。同校の教育目標を図形や絵、文字で表現した案を説明した。

その後、鈴木さんからデザインの考え方や色の使い方や学んだ上で、採用する色やレイアウトについて意見を出し合いながら、デザイン原案をまとめていった。

月内に第2回の会議を開き、最終的なデザインを完成させる予定。

(焼津支局・福田雄二)

鈴木さん(奥右)の助言を受けながらデザインについて話し合う生徒たち

|| 焼津市上新田の清流館高